

シグナルマークについて

- シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で、必ず記載の注意事項を守ってください。
- △ **危険**—取扱いを誤った場合に、**死亡、重傷の危険が発生します。**
- △ **警告**—取扱いを誤った場合に、**死亡、重傷の危険が発生する可能性があります。**
- △ **注意**—取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

積載物について

- △ **注意** 最大積載量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。使用状況によっては、60kg未満でも屋根や雨ドイの変形及び、キャリアが破損する場合があります。また過酷な使用を行うことにより積載能力は低下いたします。
- △ **注意** 下記の物は積載しないでください。スキー板、ストック、スノーボード、サーフボード、自転車、コンテナ、ルーフボックス、ウィンドサーフボード、ポール、ブーム、ボート、カヌー、カヤック等の風抵抗の大きいもの。
- △ **注意** 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。積載を超える大きさの物は絶対に積載しないでください。また長さにおかれましては、制限内であっても積載物がキャリアからはみ出す場合は前後均等にはみ出すようにしてください。
→どちらか極端にはみ出すことにより、キャリアに不規則な力は加わり破損、脱落、車両の変形等の原因になります。

長さ×幅×高さ 540×1000×600

取扱い上の注意

- △ **注意** 積載重量を守り、過積載は絶対に行わないでください。
→過積載をしますと、**脱落や破損だけでなく車両の変形、積載物落下等の原因になります。**
- △ **注意** 積載物をキャリアに載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。
→強い衝撃(集中荷重)がかかることにより**キャリアの破損、脱落の原因になります。**
- △ **注意** 走行前と走行後には、必ず各締め付け部にトルミが無い点検してください。
→締め付け部にトルミがあると、**思わぬ脱落事故を起こします。**
- △ **注意** 積載物の重量配分はどちらか(左右)に片寄らないようにして、できるだけ均等に平坦に積載してください。
→どちらか(左右)に積載物が片寄りますと**運転に支障を生じたりキャリアの本体にも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。**
- △ **注意** キャリアの使用時は特に法定速度を守り、急発進、急ブレーキ、急ハンドル等の過酷な運転は避け、悪路では徐行してください。
→キャリアがズレる等、**危険な状態に変化することがあります。**
- △ **注意** キャリア装着車は車両の全長が長くなり、また地上高も高くなるため、車両をバックさせる場合や高さ制限のある所を通行する場合は十分に注意してください。
→キャリアの破損、脱落、車両の変形の原因になります。
- △ **注意** 車両によっては長尺物を積載し、バックドアを開閉した時に積載物と干渉する場合がありますので注意してください。
→干渉する場合はバックドアの開閉は行わないでください。バックドアの破損の原因になります。

保管方法・保守について

- △ **注意** 本体とネジ類の防錆処理を市販の防錆剤等にて、**組立て時及び1カ月に1度は行ってください。**
- △ **注意** キャリアを保管する場合は、きれいに清掃し防錆処理を行った上で湿気の無い所で保管してください。
- △ **注意** キャリアの表面にキズ等が付きましたら、その部分からサビが発生することがありますので、タッチペン等で補修してください

◆部品交換について

部品を破損、紛失された場合は、ご使用のキャリアの品番及び「本書」の構成パーツ表の各部品名にてお買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。

事故が起きた時は

- 製品の欠陥等により万が一事故が発生した場合は、速やかに販売店または弊社までご連絡ください。事故対応をスムーズに行うためにも、お客様に以下のことをご用意して頂く必要があります。
- (1)事故製品の確保—事故発生時のままの状態のもの(製品をバラバラにしない)
 - (2)損害の内容—損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
 - (3)事故発生状況—日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故、紛失届)(いつ、どこで、何が、どのように)
- *お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718

http://www.rocky.ne.jp rocky@rocky.ne.jp

ROCKY ROOF CARRIER

ZMシリーズ 取扱い説明書

品番 / ZM-670・680

この度はロッキールーフキャリア「ZMシリーズ/高耐食溶融めっき製」をお買い上げいただきありがとうございます。常に安全な状態で、ご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上ご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て、取付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

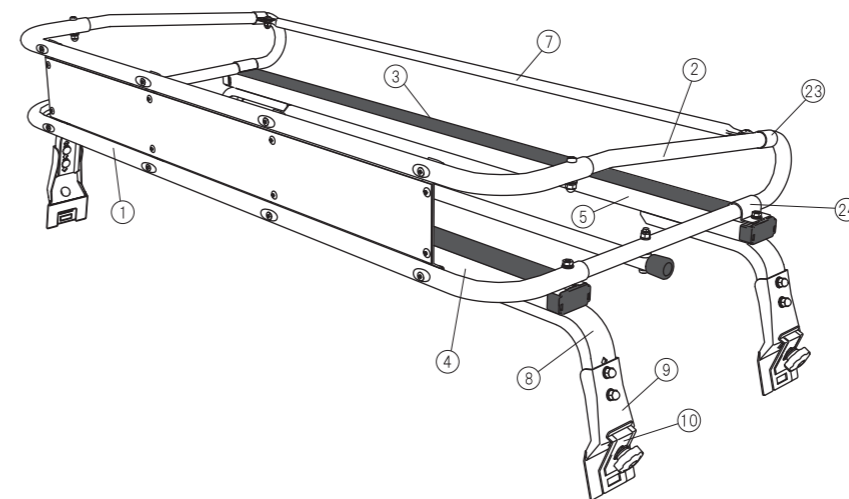
ご使用前に

- △ **警告** 本製品は旧ミニキャブ(U61T)・旧クリッパー(U71T)・旧ハイゼット(S200)・旧ピクシス(S201U)・旧サンバー(S201J)系トラック旧サンバー(TT)系トラック 標準ルーフ専用キャリアです。
- △ **警告** 本製品の改造は絶対に行わないでください。
本製品の改造による事故責任は一切負いかねますのでご了承ください。
【例】・部品の穴あけ及び溶接 ・荷受部の全面に板等を敷く ・看板の取付け
・市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)を積載する
・本製品以外の部品による組立て及び部品交換
- △ **警告** 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- △ **注意** キャリアを取付けたまま洗車機にかけないで下さい。キャリアに無理な力がかかり、屋根の変形等の損傷を車に与えます。

構成パーツ

- 構成パーツは検査済みですが組立てを行う前に必ず、ご確認をしてください。

No	部品名称	ZM-670	ZM-680	No	部品名称	ZM-670	ZM-680	No	部品名称	ZM-670	ZM-680
		旧ミニキャブ 旧クリッパー 旧ハイゼット 旧ピクシス 旧サンバー (S201J系)	旧サンバー (TT系)			旧ミニキャブ 旧クリッパー 旧ハイゼット 旧ピクシス 旧サンバー (S201J系)	旧サンバー (TT系)			旧ミニキャブ 旧クリッパー 旧ハイゼット 旧ピクシス 旧サンバー (S201J系)	旧サンバー (TT系)
①	フロントフレーム	1	1	⑭	フレームキャップ	4	4	⑳	バネ座金M8	4	4
②	サイドフレーム	2	2	⑮	キャップボルトセットM6	8	8	㉑	バネ座金M6	12	12
③	ラバー	2	2	⑯	六角ボルトセットM6(長)	2	2	㉒	ナイロンワッシャー	4	4
④	フレームチャンネル(短)	1	1	⑰	六角ボルトセットM6(短)	2	2	㉓	ゴムパッキン	2	2
⑤	フレームチャンネル(長)	1	1	⑱	角根ボルトM8	4	4	㉔	締付ノブ	4	4
⑥	キャップ付パイプ	1	1	⑲	角根ボルトM6	8	8	㉕	ナイロンナットM6	2	2
⑦	フレーム補強パイプ	1	1	㉒	丸ネジM6(短)	2	2	㉖	袋ナットM6	12	12
⑧	脚ステー	4	4	㉓	丸ネジM6(長)	2	2	㉗	インナーフック③	—	4
⑨	インナークランプ	4	4	㉔	トラスネジM6	2	2	㉘	丸ネジセットM6	—	4
⑩	アウトークランプ	4	4	㉕	サイドフレームクランプ	2	2	㉙	塩ビテープ	4	4
⑪	塩ビシート	8	8	㉖	Uサイドクランプ	2	2	㉚	L型レンチ	1	1
⑫	フレームチャンネル金具	4	4	㉗	平座金M8	8	8	ミニキャブ専用部品			
⑬	ナットプレート	4	4	㉘	平座金M6	12	12	㉛	インナーフック④	4	
								㉜	ウエルナットM5	2	
								㉝	丸ネジセットM5	2	
								㉞	タッピングビス5ミリ	4	
								㉟	バネ座金M5	4	
								ハイゼット専用部品			
								㊱	インナーフック②	4	
								㊲	ウエルナットM6	4	
								㊳	丸ネジセットM6	4	
								㊴	平座金M6	4	



組立て方法①

△注意 ・キャリアの組立て時はケガ防止のため、滑り止め付軍手を使用してください。
 ・キャリアの組立て時にラチェットレンチを使用の場合は締め過ぎによりボルトやナットの破損の恐れがある為、締め過ぎには十分に注意して締付けてください。指示のない締め付けの目安はバネ座金の口が閉じてから90度程度回るぐらいです。

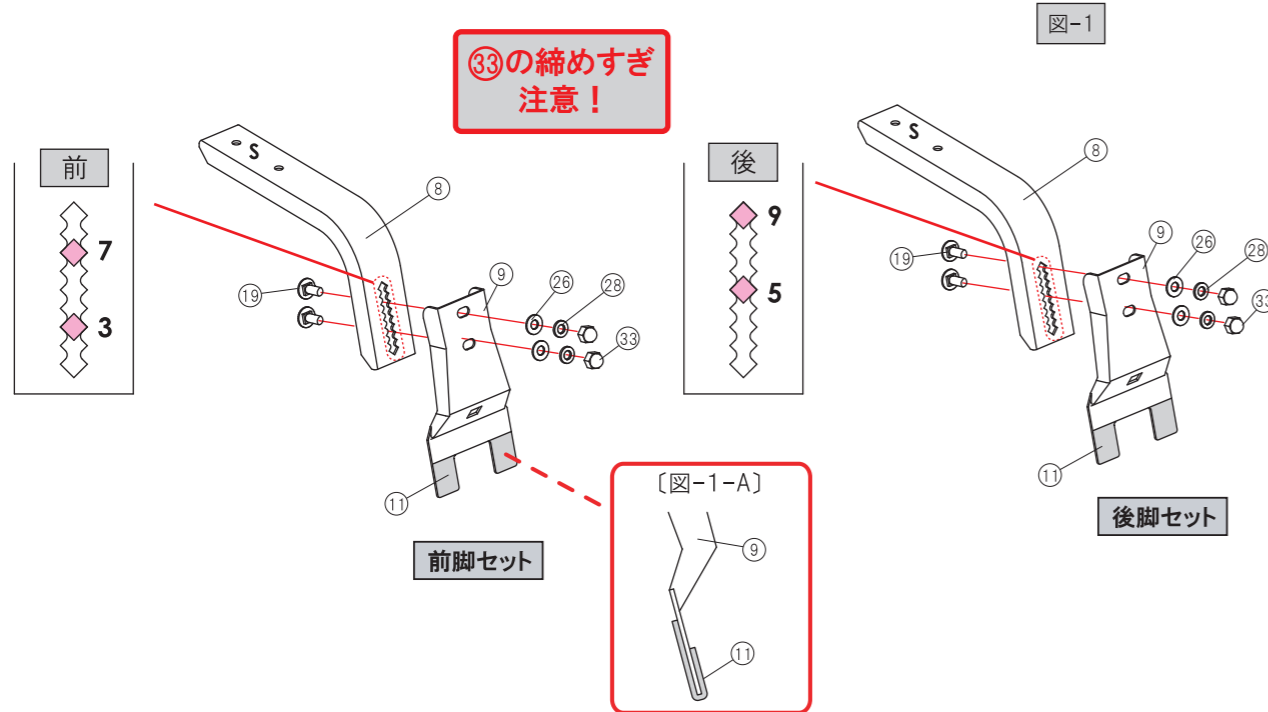
1. 「前」・「後」の脚セットを各2セット組立てます。

【前脚セット】

⑨インナーランプの下端に⑪塩ビテープを裏側が長くなるように貼ります。〔図-1-A〕
 ⑧脚ステーの「下から3番目の◇穴と7番目の◇穴」に⑨インナーランプに組付け、⑲角根ボルトM6、
 ⑳平座金M6、㉑バネ座金M6、㉒袋ナットM6にて締付けます。

【後脚セット】

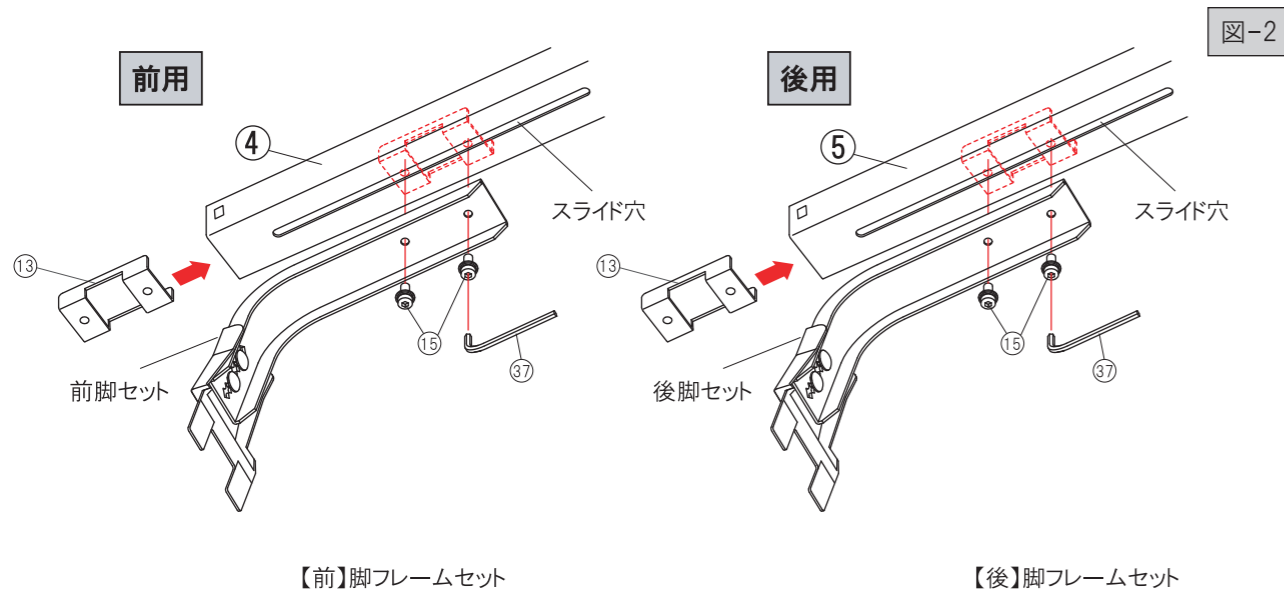
⑨インナーランプの下端に⑪塩ビテープを裏側が長くなるように貼ります。〔図-1-A〕
 ⑧脚ステーの「下から5番目の◇穴と9番目の◇穴」に⑨インナーランプに組付け、⑲角根ボルトM6、
 ⑳平座金M6、㉑バネ座金M6、㉒袋ナットM6にて締付けます。



2. 【前】【後】の「脚フレームセット」を各1セット組立てます。

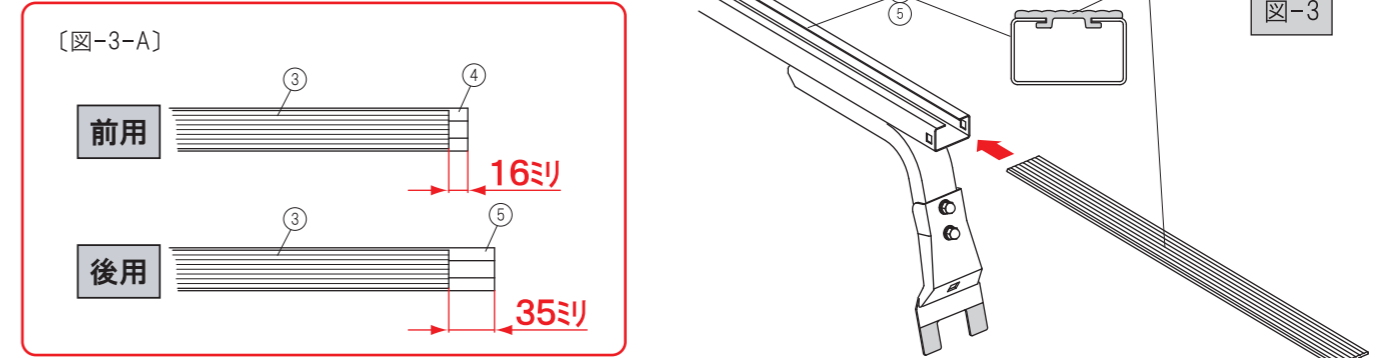
【前】は④フレームチャンネル(短)、【後】は⑤フレームチャンネル(長)の中にそれぞれ、⑬ナットプレートの天地の向きに注意して入れ、1.で組立てた「脚セット」を④⑤フレームチャンネル下のスライド穴にあてがい、⑮キャップボルトM6にて仮締めします。〔図-2〕

△注意 車両に取付ける際にキャリア幅の調整を行うため、必ずこの段階ではスライドする程度の仮締め状態にしてください。

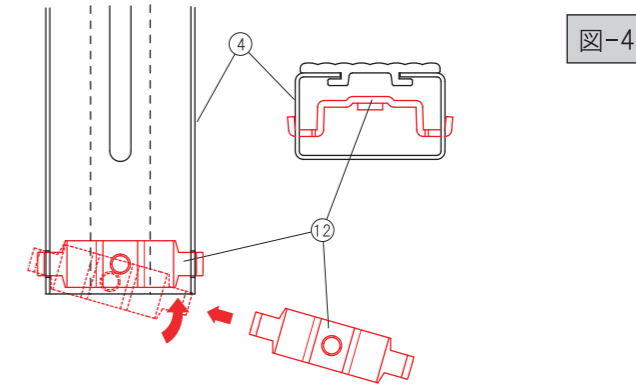


組立て方法②

3. 2. で組立てた【前】【後】脚フレームセットの④⑤フレームチャンネルに③ラバーを通します。〔図-3〕
 【前】脚フレームセットに③ラバーを通す際は④フレームチャンネルの端から「16ミリ」空けた状態にしておいてください。
 【後】脚フレームセットに③ラバーを通す際は⑤フレームチャンネルの端から「35ミリ」空けた状態にしておいてください。〔図-3-A〕

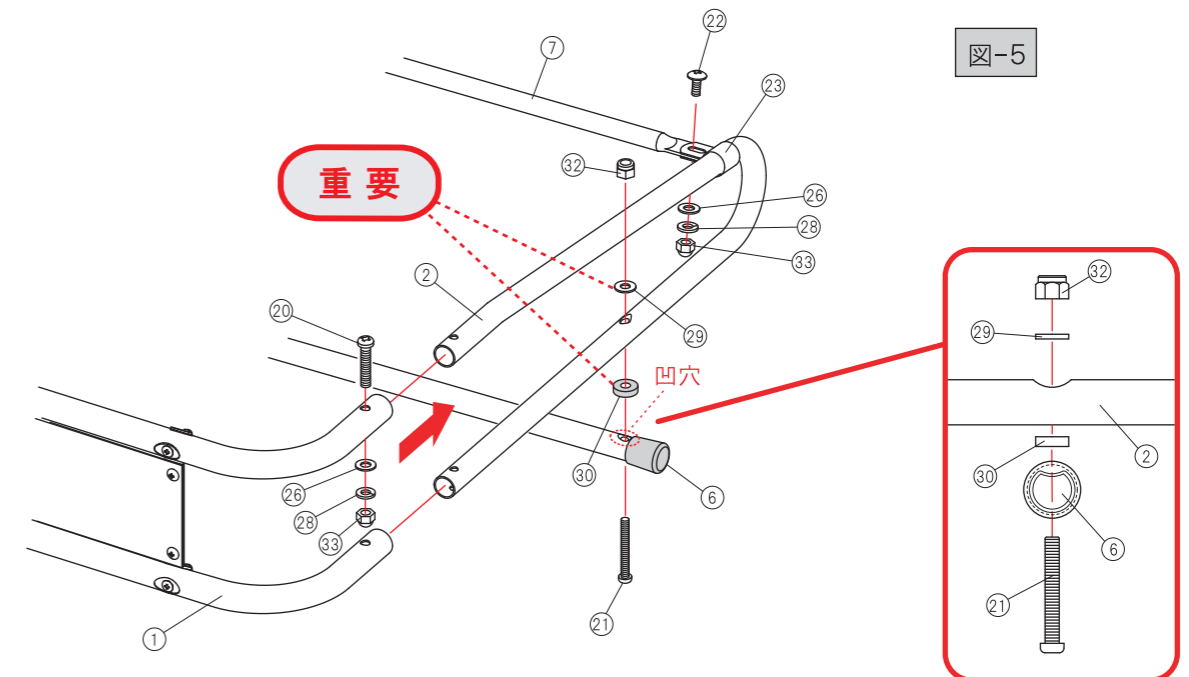


4. 【前】【後】の脚フレームセットの④⑤フレームチャンネルの両端に⑫フレームチャンネル金具を入れておきます。
 入れる際は④⑤フレームチャンネルの角穴の内側から⑫フレームチャンネル金具を斜めに入れ反対側の角穴に引っ掛けます〔図-4〕



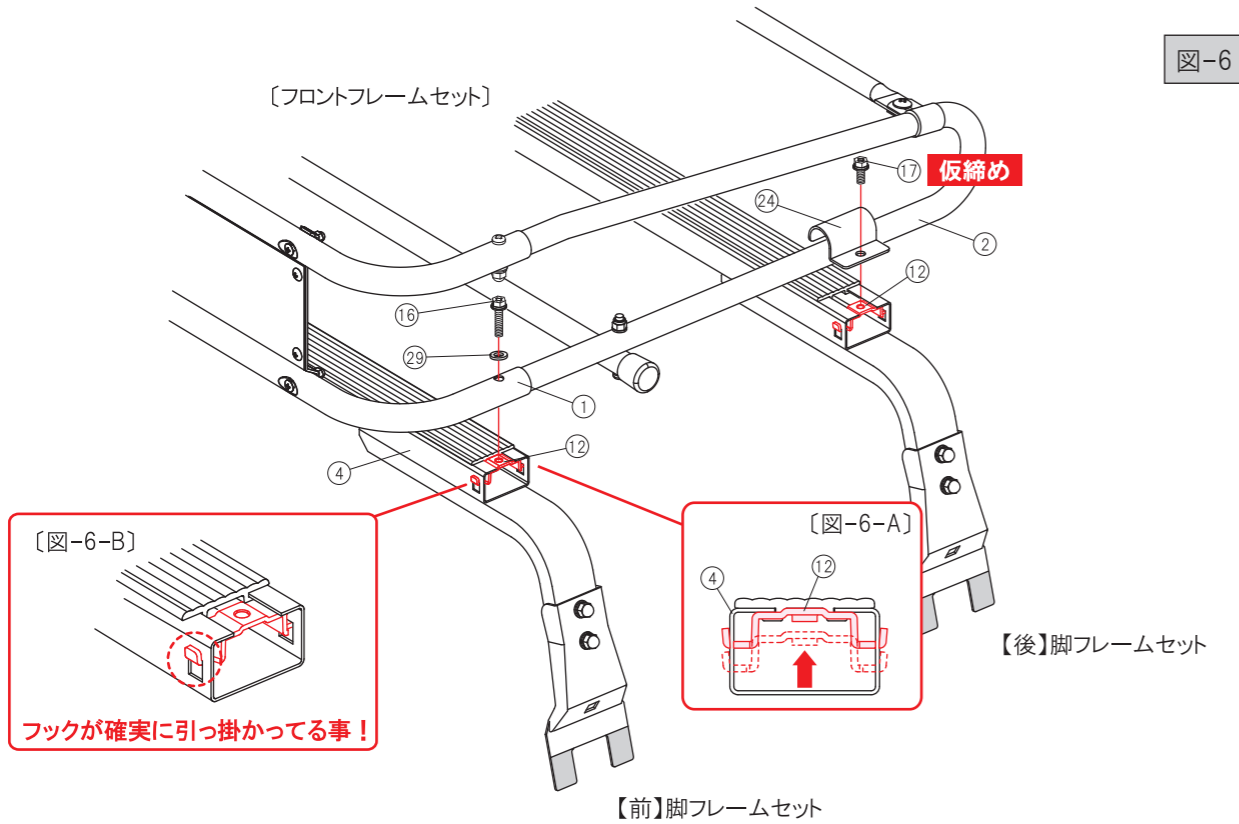
5. 「フロントフレームセット」を組立てます。②サイドフレームに③サイドフレームクランプをはめ、①フロントフレームに差込みます。
 ①フロントフレームの上のパイプに⑳丸ネジ(短)を通し、㉑平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓袋ナットM6にて締付けます。
 ㉓サイドフレームクランプと⑦フレーム補強パイプ合わせ、㉔トラスネジM6、㉕平座金M6、㉖バネ座金M6、㉗袋ナットM6にて締付けます。
 ⑥キャップ付パイプの丸穴の凹穴面を上にして、下から㉘丸ネジ(長)を通し、㉙ゴムパッキン、㉚ナイロンワッシャー、㉛ナイロンナットM6にて②サイドフレームに組付けます。〔図-5〕

△注意 ㉙ゴムパッキン、㉚ナイロンワッシャーは雨等での水の浸入を防ぎ、サビ発生の防止効果がある為、必ず使用してください。

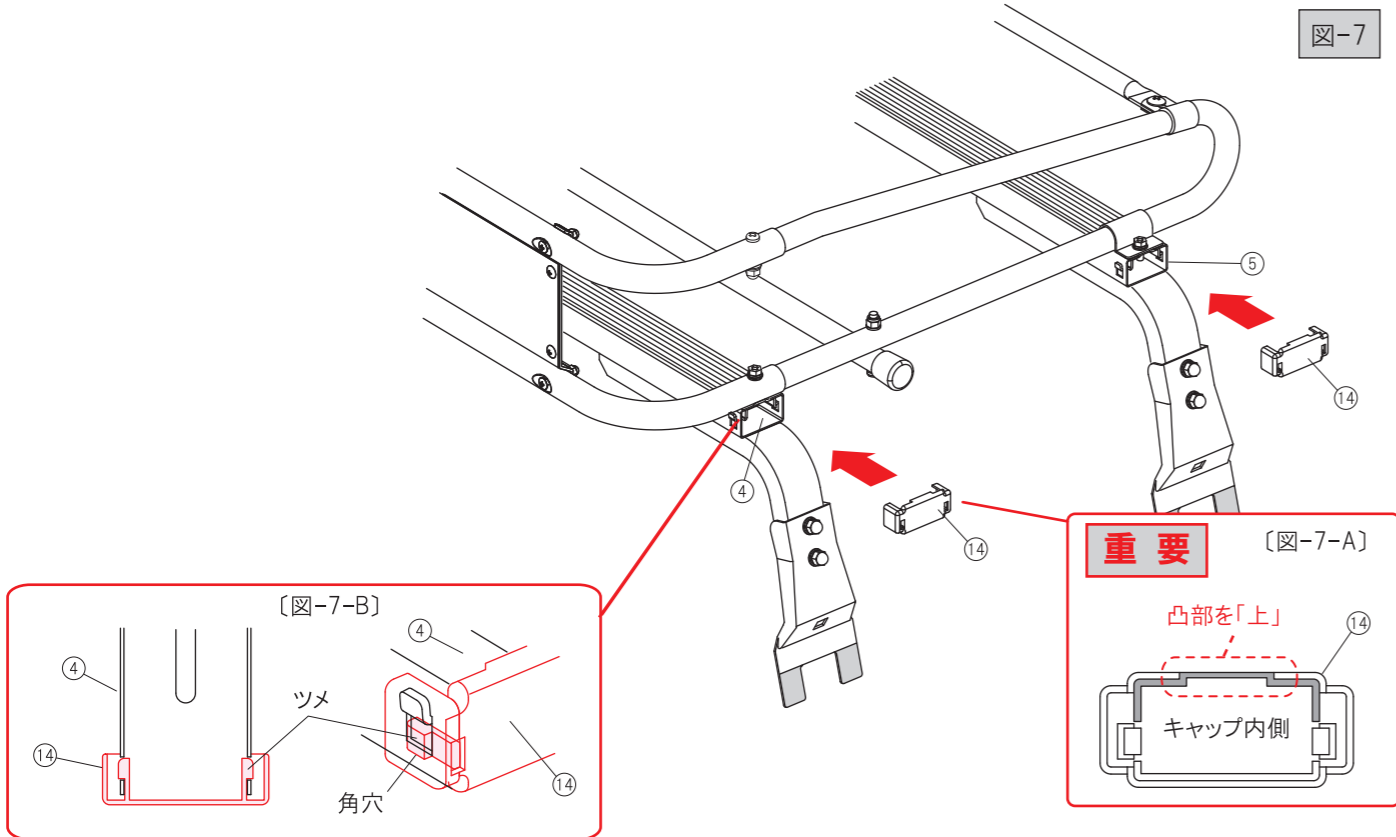


組立て方法③

6. 5で組立てた「フロントフレームセット」と、2で組立てた【前】【後】脚フレームセットを組付けます。〔図-6〕
 「フロントフレームセット」を④⑤フレームチャンネル両端上面の空いている所に載せます。
 ・【前】は①フロントフレームの下穴に⑩六角ボルトセットM6(長)、⑲ナイロンワッシャーを通し、⑫フレームチャンネル金具にしっかりと締付けます。締付けの際は⑫フレームチャンネル金具を指で上に上げた状態で締付けを行ってください。〔図-6-A〕
 この時、⑫フレームチャンネル金具の両端のL型フックが④フレームチャンネルの角穴に確実に引っ掛かった状態であることを確認してください。〔図-6-B〕
 ・【後】は②サイドフレームの上から⑳Uサイドランプをかませ、⑰六角ボルトセットM6(短)にて⑫フレームチャンネル金具に仮組付けします。車両に取付ける際に【後】脚フレームの位置の調整を行うため、必ずこの段階では前後にスライドする程度の仮締め状態にしてください。



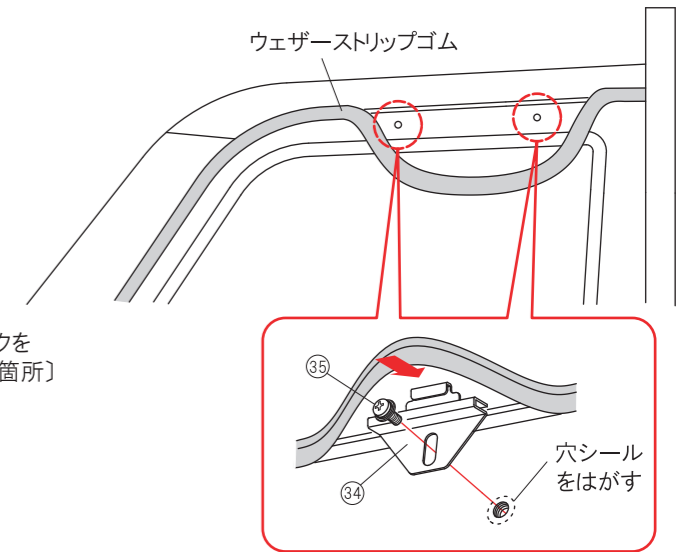
7. ④⑤フレームチャンネルの先端に⑭フレームキャップを組付けます。〔図-7〕 この時、⑭フレームキャップの凸部を上にした状態で〔図-7-A〕
 ④⑤フレームチャンネル先端横の角穴に⑭フレームキャップのツメを引っ掛けます。〔図-7-B〕



キャリアの取付位置

旧サンバートラック TT系の場合

1. ウェザーストリップゴムの全体を確実につかんで図のように外します。
2. 穴シールをはがし、③④インナーフックをレールに差込み、③④インナーフックを手で押さえながら③⑤丸ネジセットM6にてしっかりと締付けます。〔前後4箇所〕



旧ミニキャブ 旧クリッパー トラックの場合

1. ウェザーストリップゴムの全体を確実につかんで図のように外します。
2. 取付け穴の有無〔ポンチマーク(凹丸)又は穴シール〕を確認してから作業を行ってください。

【ポンチマーク(凹丸) “穴無し” の場合】

後側のポンチマークにドリルでφ4.0の下穴をあけます。
△注意①—必ず下穴をあける際はφ4.0を守ってください。
 φ4.1以上になりますと締付効果がなくなってしまうユルミや外れが発生するため慎重に行ってください。

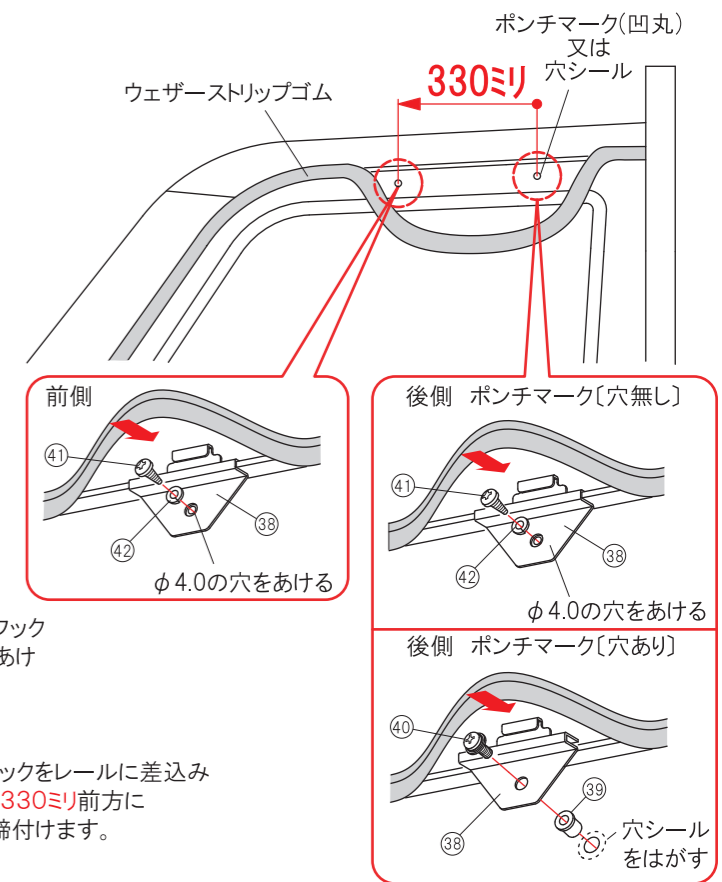
③⑧インナーフックをレールに差込み④②バネ座金M5、④①タッピングビスにて締付けます。

△注意②—締付けの際は締め過ぎによる④①タッピングビスの空回りの恐れがある為、慎重に行ってください。
 締付けの目安は④②バネ座金M5の口が閉じる程度締付けてください。

前側の取付けは後側のインナーフックから330ミリ前方に③⑧インナーフックをあてがい丸穴の中心にマーキングをして後側同様にドリルで下穴をあけ④②バネ座金M5、④①タッピングビス5ミリにて締付けます。

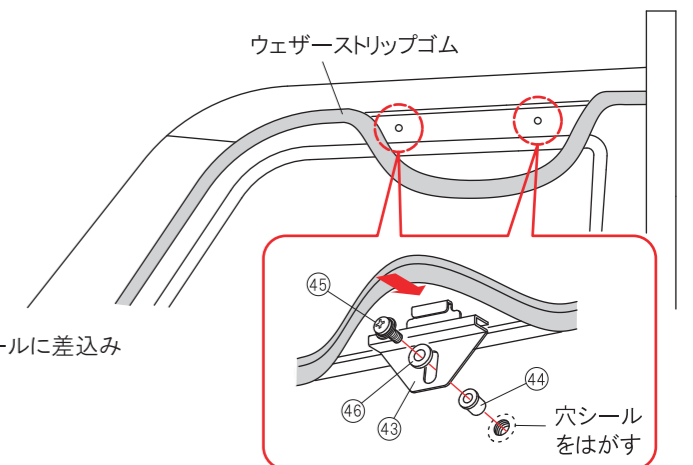
【穴シール “穴あり” の場合】

後側の穴シールをはがし、③⑨ウェルナットM5を穴に入れ③⑧インナーフックをレールに差込み④①丸ネジセットM5にてしっかりと締付けます。前側の取付けは後側より330ミリ前方にドリルでφ4.0の下穴をあけ④②バネ座金M5、④①タッピングビス5ミリにて締付けます。
 締付けの際は上の注意事項①②を必ず守ってください。



旧ハイゼット・ピクシス 旧サンバ S200系 トラックの場合

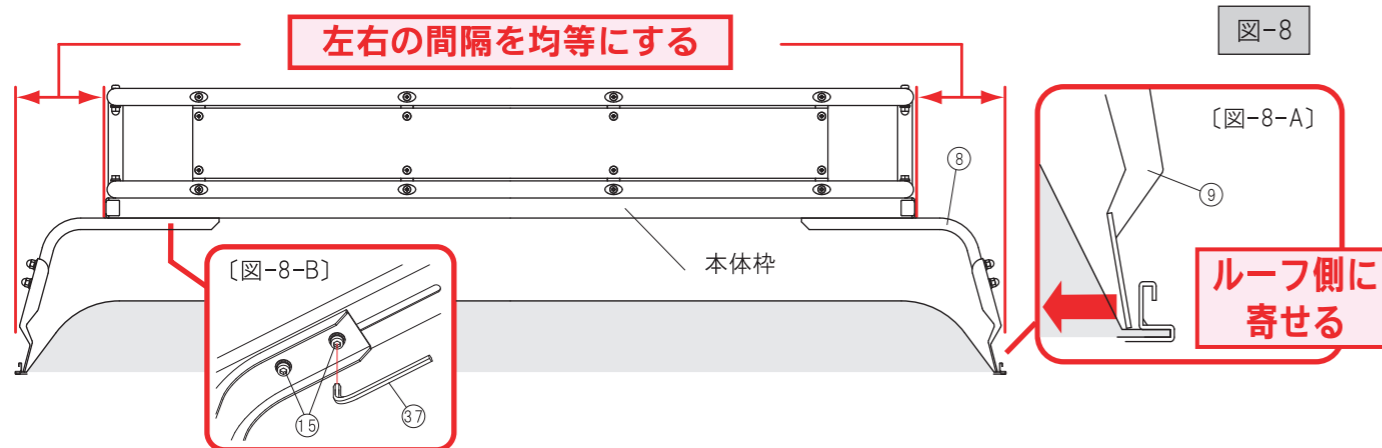
1. ウェザーストリップゴムの全体を確実につかんで図のように外します。
2. 穴シールをはがし、④④ウェルナットM6を穴に入れ④③インナーフックをレールに差込み④③インナーフックを手で押さえながら④⑥平座金M6、④⑤丸ネジセットM6にてしっかりと締付けます。〔前後4箇所〕



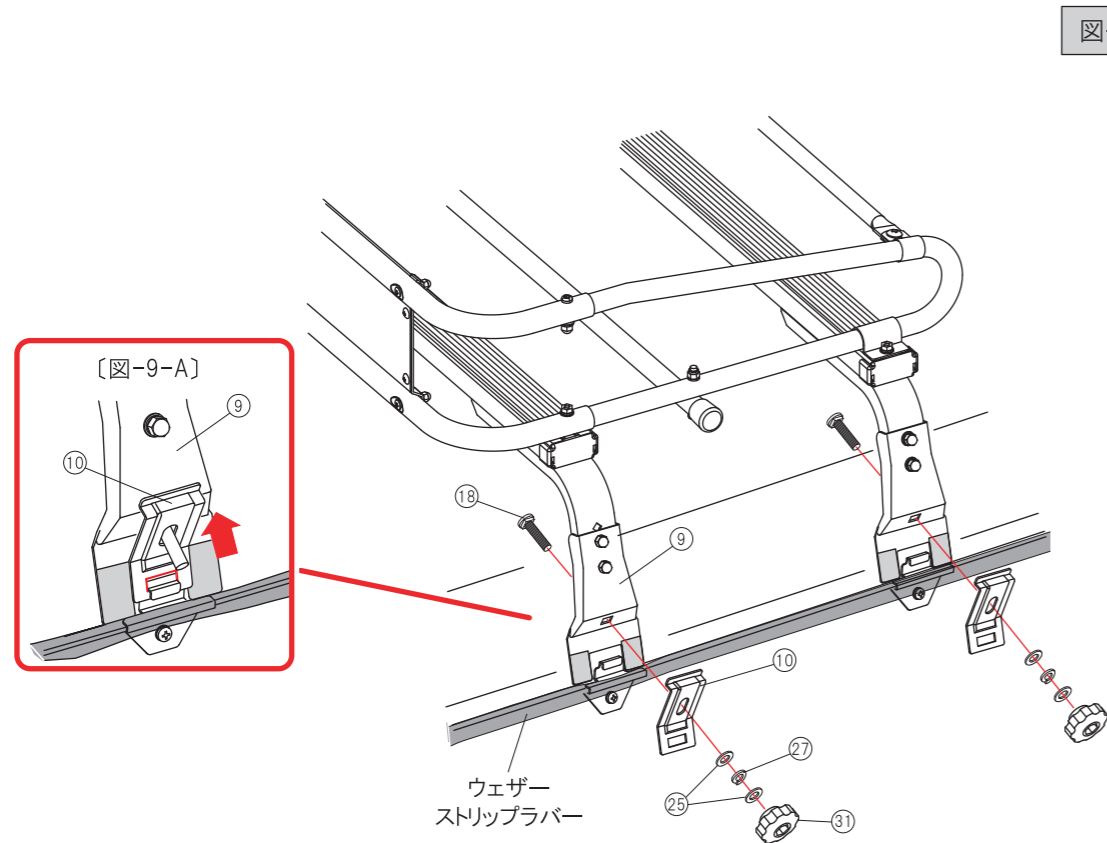
取付け方法

△注意 キャリアを車両に取付けの際は必ず2人以上で安全な場所で行ってください。ルーフの傷や凹み、キャリアの破損防止になります。

- 「キャリアの取付け位置」で取付けたインナーフックの中心に⑨インナークランプの中心が来るようにキャリアをルーフに載せます。〔図-8〕
この時、「組立て方法③」で仮締め状態の【後】脚フレームセットを【後】のインナーフックの中心に来るように位置の調整を行い、調整後、⑰六角ボルトセットM6(短)にてしっかりと締付けます。
次に、本体枠と⑧脚ステーの左右の間隔が均等になるように調整を行います。
この時 ⑨インナークランプをレールのルーフ側に寄せた状態にしておきます。〔図-8-A〕
調整後、「組立て方法①/2」で仮締め状態の⑮キャップボルトセットM6をしっかりと締付けます。〔図-8-B〕



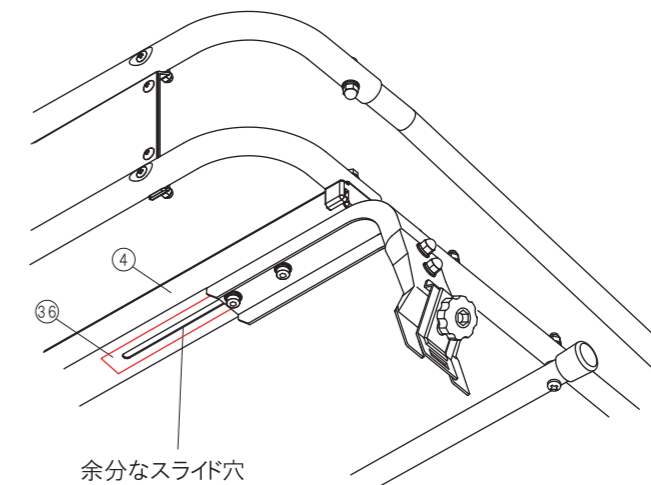
- ⑨インナークランプの裏側から⑱角根ボルトM8を通し⑩アウトークランプをインナーフックに引っ掛け、〔図-9-A〕
⑳平座金M8、㉑バネ座金M8、㉒平座金M8、㉓締付ノブで4か所均等に締付けます。〔図-9〕
※締付けの目安は㉑バネ座金M8の口が閉じる程度まで締付けます。



- キャリア取付け後、④⑤フレームチャンネル下の余分なスライド穴を⑳塩ビテープを必要な長さにカットして塞ぎます。〔図-10〕

△注意 必ずスライド穴を塞いでください。
この作業を怠ると走行中に笛を吹いたような異音が発生し、また雨天や洗車時には水が侵入するためサビ発生の原因になります。

重要
(異音防止)



△注意:キャリア取付け後の確認を！！

- ④⑤フレームチャンネル下のスライド穴が 塩ビテープで確実に塞いでいるか確認してください。
- キャリアを前後左右に揺すり“ズレ”や“ガタツキ”が無い事を確認してください。
- キャリアを手ひらで数ヶ所叩いて、各締付け部にユルミがないかを確認してください。
ユルミがある場合は“ビビリ音”がします。
- キャリアを取付けた初期段階では初期ユルミは必ず発生します。定期的に締付け部の増締めを習慣に行ってください。

雨漏りについて

本製品は車両の個体差(バラツキ)によりキャリア装着後、新車や長期保存車などを問わず、フロントドア周りから雨漏りする場合があります。
原因として、ドアを閉めっ放しの状態が長く続き、下側のウェザーストリップラバーの硬化にて弾性が低下し、ドア接触面との密着力が弱くなることにより、わずかな隙間でも雨漏りする場合があります。
雨漏りの対策は下側のウェザーストリップラバーとドア接触面に“撥水の良いワックス”を塗ることにより止まる場合があります。
これは“撥水の良いワックス”の効果により、雨などの水をはじく働きと、ラバーを軟化させ弾性を復元して密着力を向上させます。
以上の事も定期的なウェザーストリップラバーとドア接触面に“撥水の良いワックス”を塗ることをお勧めいたします。

